

熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画の 実施状況について

令和6年（2024年）2月

熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策協議会

地球温暖化対策推進法

- ・ 法第21条に基づき地方公共団体で温室効果ガス排出量削減のための措置に関する計画

本議題の対象

区域施策編

熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画

住民・事業者・行政を含めた区域内での
温室効果ガス排出量削減を目的とした計画

事務事業編

各地方公共団体が策定
※全市町村で策定済み

地方公共団体の事務及び事業に伴う
温室効果ガス排出量削減を目的とした計画

地方公共団体
実行計画

1 熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策 実行計画について

1(1) 経緯・目的

経緯

2016年 熊本連携中枢都市圏の形成

2020年 「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ」を目指すことを共同宣言

2021年 「熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画」を共同策定

目的

○住民、事業者、行政が一体となって地域の温室効果ガス排出量の大幅な削減に取り組む。

○エネルギーの地産地消など持続可能な「地域循環共生圏」の実現を目指す。

計画期間

2021年度(令和3年度)～2025年度(令和7年度)

計画の対象

熊本連携中枢都市圏(令和3年3月時点の18市町村(山鹿市・玉名市除く))の全域の住民・事業者・行政を含めた温室効果ガスの排出。

1(2) 計画の目標

○2013年度を基準として、短期・中期・長期の温室効果ガスの削減目標を掲げている。

温室効果ガスの削減目標

基準年度(2013年度)

9,970千t-CO₂

①短期目標(2025年度):33%以上削減 6,652千t-CO₂

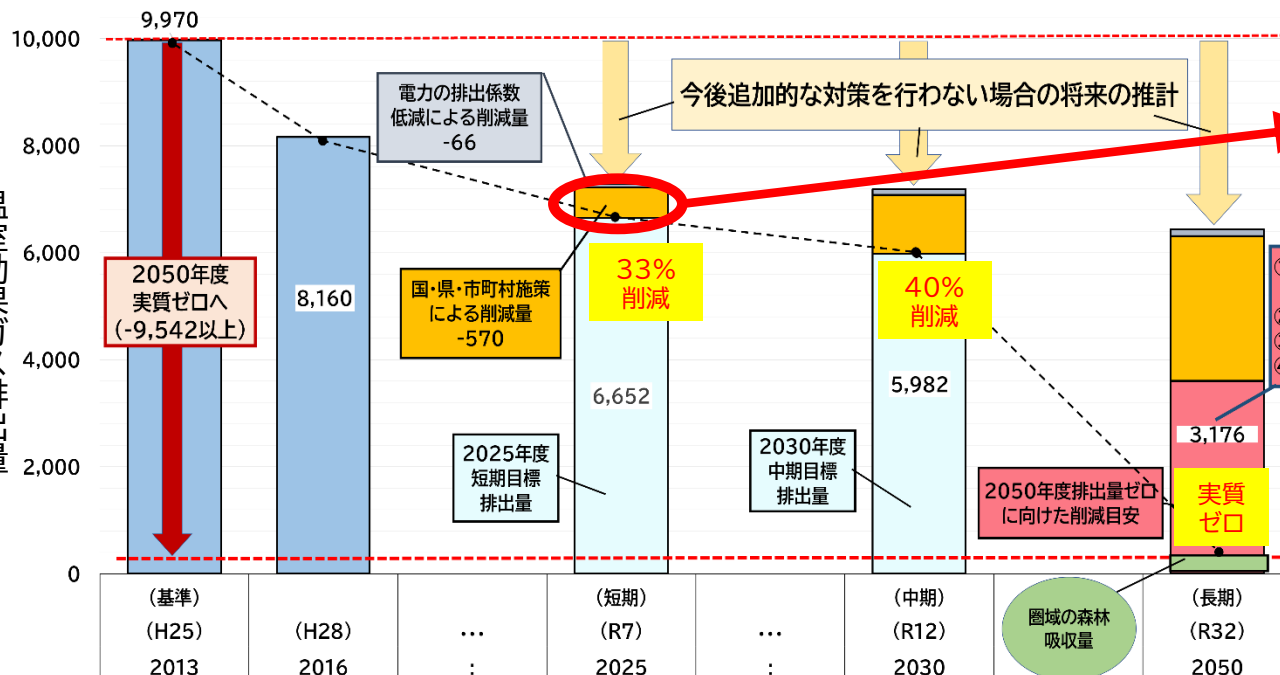
②中期目標(2030年度):40%以上削減 5,982千t-CO₂

③長期目標(2050年度):排出量実質ゼロ 428千t-CO₂

◆2025年度目標の考え方

内訳	温室効果ガス削減量(千t-CO ₂)
18市町村の施策による削減	128
国・自治体の施策の波及効果による削減	442
合計	570

(千トン-CO₂)



- ① 短期・中期目標達成に向けた取組の強化・拡大
- ② 「脱炭素循環共生圏」の実現
- ③ 国のグリーン成長戦略の推進
- ④ 国のエネルギー計画の見直し

連携中枢都市圏の施策により、2025年度までに128千t-CO₂の削減を目指す

1(3) 基本方針と重点取組について

- 実行計画では、5つの基本方針と4つの重点取組を掲げている。
- 基本方針に基づく各施策のアクションプラン(事業シート)により、事業目標と実績、温室効果ガス削減量等を取りまとめ、施策の進捗を管理している。

<基本方針>

- ①再生可能エネルギーの利用促進と災害への対応
- ②省エネルギーの推進とエネルギーの効率的な利用
- ③脱炭素に向けた都市機能と資源循環社会の構築
- ④豊かな自然環境の保全と住民の生活の質の向上
- ⑤環境意識の向上と環境投資の推進

アクションプラン
(事業シート)

事業目標、実績

<重点取組>

- 重点1:地域エネルギー事業の面的推進と災害時電力の確保
- 重点2:「COOL CHOICE」の共同推進によるライフスタイルの
変革
- 重点3:森づくりの展開と地下水保全
- 重点4:公共施設等による率先した省エネ・蓄エネ・再エネの推進

施策による
温室効果ガス
削減量算出

2 温室効果ガス排出状況について (2019年度実績)

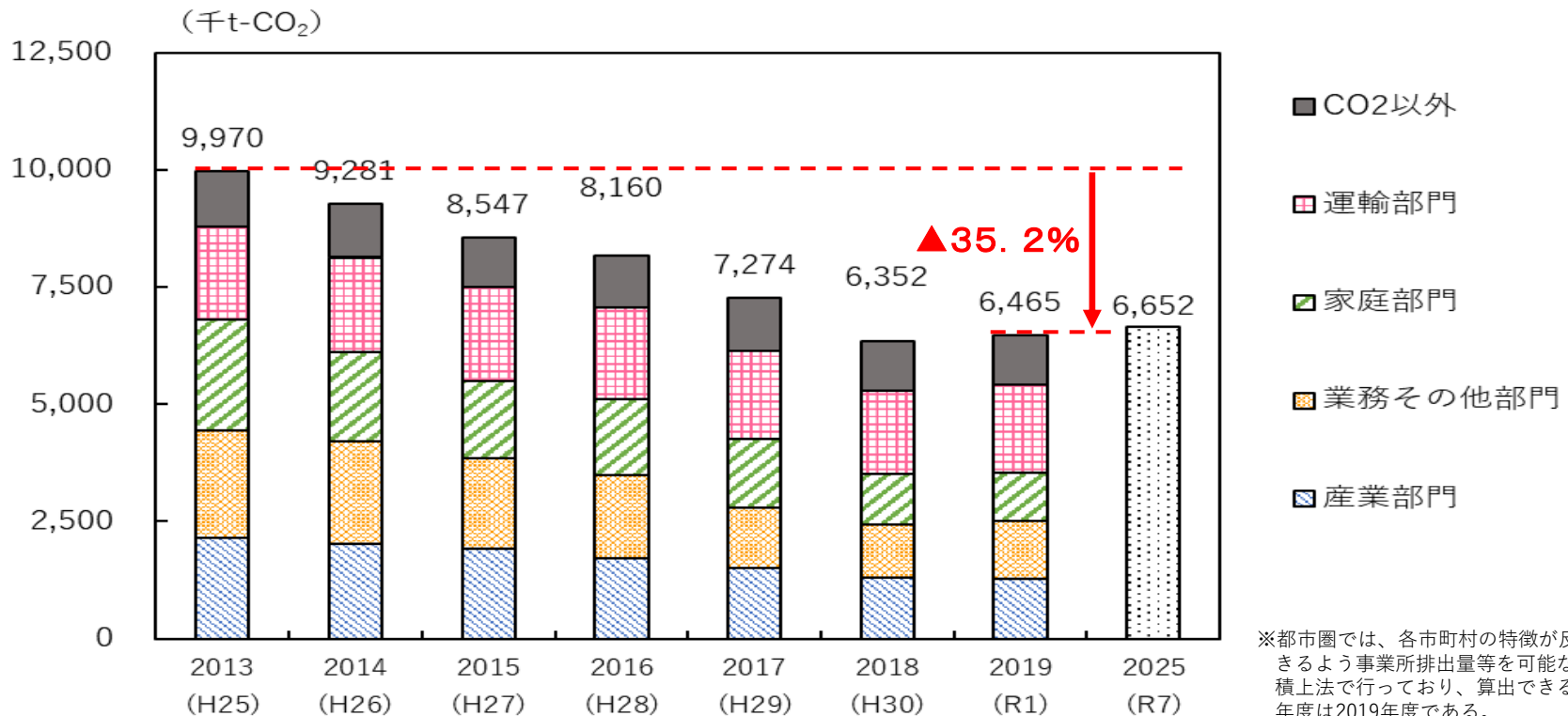
2 温室効果ガス排出状況

- 2019年度の都市圏域における温室効果ガス排出量は6,465千t-CO₂で、**基準年度比 35.2%の減少となり、本計画の短期目標(33%削減)を達成**
- 電力の排出係数が増加した影響で、前年度比では排出量が微増しているものの、家庭等での省エネの推進等が削減に貢献している。



- 2030年・2050年の目標に向け、**引き続き家庭や業務部門の省エネや再エネ普及を促進するとともに、削減率が少ない運輸部門の取組の強化が必要。**

温室効果ガス排出量の推移



3 アクションプランの実施状況と今後の 取組について

3(1) アクションプランの実施状況

<基本方針1> 再生可能エネルギーの利用促進と災害への対応

R4の主な実績

(住民・事業者の取組促進)

- 【重点2】再エネ設備(太陽光発電設備・蓄電池等)の導入補助
[熊本市・菊陽町・嘉島町・益城町・山都町]
- 南阿蘇湯の谷地熱発電所の運転開始 [南阿蘇村]

(公共施設の取組)

- 【重点1・4】配水池における太陽光発電設備の導入 [熊本市]
- 【重点1・4】市町有施設における蓄電池の拡充
(熊本市:東区役所、桜の馬場観光交流施設) [熊本市・菊池市・宇土市・菊陽町・高森町]
- 【重点4】庁舎建て替え時の再エネ設備等の導入 [宇土市]



【万日山配水地に導入した太陽光発電】



【湯の谷地熱発電所】



【宇土市役所 新庁舎】

R4実績		連携中枢都市圏
事業数		40事業
	前年度比	± 0
	2019年度比	+ 2
CO ₂ 削減量	前年度比	6,988 t-CO ₂
	2019年度比	23,685 t-CO ₂

今後の主な取組

- 国の地域脱炭素・再エネ推進交付金を活用した、熊本連携中枢都市圏の市町村有施設における再エネ設備の導入拡大
- 住民・事業者の自家消費型再エネ施設等普及促進の検討(県との連携)
- 市町村有施設における再エネ設備等(太陽光発電設備・蓄電池等)の拡充

3(1) アクションプランの実施状況

<基本方針2> 省エネルギーの推進とエネルギーの効率的な利用

R4の主な実績

(住民・事業者の取組促進)

- 省エネ設備の導入補助 (ZEH:60件、エネファーム:67件、高断熱窓改修:32件、省エネ家電420件) [熊本市]
- 省エネルギー住宅等の普及促進 (低炭素建築物:115件、CASBEE熊本:26件) [熊本市]
- 事業者向け省エネ設備導入補助 (省エネ設備23件) [熊本市]
- LED等防犯灯取替補助 [菊池市・宇土市・合志市・玉東町・菊陽町・高森町・益城町]

(公共施設の取組)

- 【重点4】市町村有施設等のLED化
[熊本市・菊池市・宇土市・宇城市・阿蘇市・合志市・大津町・菊陽町・高森町・御船町・益城町]
- 【重点4】送水ポンプにおけるインバータ制御の導入 [熊本市]
- 【重点4】公共施設ZEB化の検討 [熊本市・山都町]



【送水ポンプにおけるインバータ制御の導入】



【北区役所のLED化】

R4実績		連携中枢都市圏
事業数		73事業
	前年度比	± 0
	2019年度比	+ 4
CO ₂ 削減量	前年度比	15,647 t-CO ₂
	2019年度比	27,834 t-CO ₂

今後の主な取組

- 国の経済対策を活用した住民の取組促進(省エネ家電の導入補助など)
- 市町村有建築物における新築や改築時におけるZEB等の導入検討

3(1) アクションプランの実施状況

<基本方針3> 脱炭素に向けた都市機能と資源循環社会の構築

R4の主な実績

(脱炭素型モビリティ社会の実現)

○【重点2】 バス網再編・パーク&ライド等による公共交通機関への転換

[熊本市・宇城市・阿蘇市・合志市・大津町・美里町・菊陽町・南阿蘇村・嘉島町]

○【重点4】 公用車における電気自動車等の率先導入 [熊本市・宇土市・山都町]

【各区役所に配置した電気自動車】

○【重点2】 熊本県MaaSにおけるモバイルアプリ「my route」の運用開始 [都市圏]

○【重点2】 「バス・電車無料の日」の実施 [熊本市]

○【重点2】 シェアサイクル実証実験の開始 [熊本市]



【シェアサイクルサービス「チャリチャリ」】

(都市緑化の促進)

○【重点3】 くまもと花博の開催 [熊本市]

○【重点3】 市有林の造林の検討 [阿蘇市]

(廃棄物の適正処理と資源循環) [熊本市]

○プラスチック製容器包装の分別収集・リサイクル

○ごみ収集車におけるバイオディーゼル燃料の使用

(下水道施設における資源循環) [熊本市]

○下水汚泥の有効活用、下水道処理水の再利用

R4実績		連携中枢都市圏
事業数		193事業
	前年度比	+ 7
	2019年度比	+ 1 2
CO ₂ 削減量	前年度比	1,341 t-CO ₂
	2019年度比	6,113 t-CO ₂

今後の主な取組

○更なる公共交通機関の利用促進と渋滞対策の検討

○公用車への電気自動車等の導入拡大 [都市圏]

3(1) アクションプランの実施状況

<基本方針4> 豊かな自然環境の保全と住民の生活の質の向上

R4の主な実績

(地下水保全)

- 【重点3】節水市民運動の展開 [熊本市]
- 【重点3】雨水貯留施設等の設置費助成 [熊本市・菊池市・宇土市・合志市・大津町・菊陽町・西原村・御船町・嘉島町・益城町・甲佐町]
- 【重点3】白川中流域の転作田での湛水事業 [熊本市]
- 【重点2】アジア・太平洋水サミットの開催 [熊本市]

(環境に配慮した農畜産業の推進)

- 【重点3】環境に配慮した農畜産業の推進 [熊本市・阿蘇市・大津町・菊陽町・高森町・嘉島町・益城町・甲佐町・山都町]
- 堆肥舎及び堆肥化機材の導入補助の検討 [山都町]
- 【重点3】森づくりの推進(森林の間伐、整備等)
[熊本市・菊池市・宇土市・宇城市・合志市・美里町・大津町・菊陽町・高森町・西原村・南阿蘇村・益城町・甲佐町・山都町]



【第4回アジア・太平洋水サミット】

R4実績		連携中枢都市圏
事業数		60事業
	前年度比	+ 2
	2019年度比	+ 1
CO ₂ 削減量	前年度比	400 t-CO ₂
	2019年度比	▲1,550 t-CO ₂

※生活用水使用量の増加や森林経営活動を実施した場合の吸収係数が国の見直しで低下したことにより、2019年度比で増加しているもの。

今後の主な取組

- 湛水事業の推進や節水市民運動など地下水保全の拡充
- 森林の適正管理の継続
- スマート農業や環境に配慮した農業の推進

3(1) アクションプランの実施状況

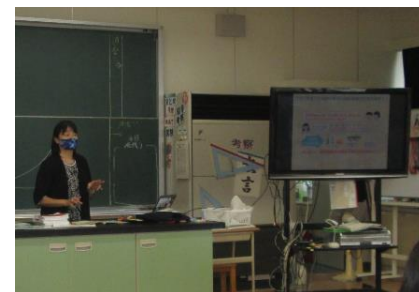
<基本方針5> 環境意識の向上と環境投資の推進

R4の主な実績

- 【重点2】地元紙を活用した都市圏の地球温暖化対策に関する広報 [熊本連携中枢都市圏]
- 【重点2】地球温暖化対策の周知パネルの巡回展示 [全市町村で実施]
- 【重点2】脱炭素型経営に関するセミナーの開催 [熊本市]
- 【重点2】省エネ推進のためのクールビズ等の実施 [熊本市・阿蘇市・美里町・嘉島町・甲佐町]
- 【重点2】住民・事業者に向けた環境啓発活動 [熊本市・菊池市・合志市・御船町・甲佐町]
- 【重点2】小中学校での環境教育 [熊本市・菊池市・宇土市・宇城市・玉東町・大津町・西原村]
- 町有林のJクレジット化の推進 [山都町]
- グリーン/ブルーボンド導入の検討 [熊本市]



【脱炭素経営に関するセミナー】



【中学校での環境教育】

R4実績		連携中枢都市圏
事業数	前年度比	28事業
	2019年度比	+ 2
CO ₂ 削減量	前年度比	▲ 1
	2019年度比	6,401 t-CO ₂
		19,202 t-CO ₂

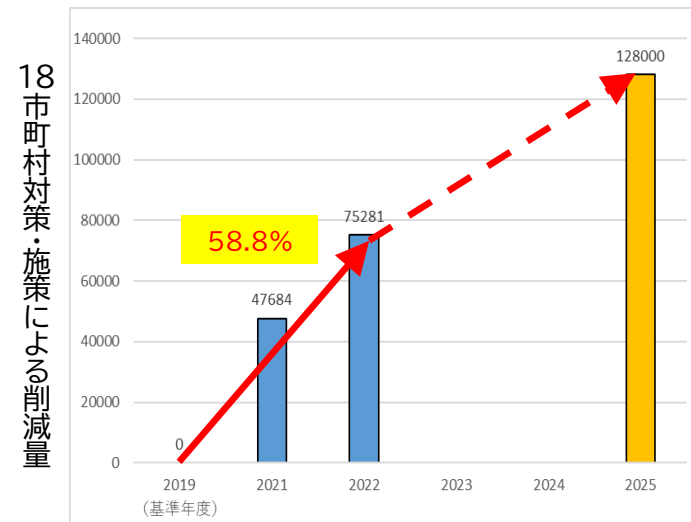
今後の主な取組

- テレビ、SNS、広報誌等による「デコ活(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)」の促進
- オンラインによる出前講座・様々なイベント(防災フェア等)を活用した啓発活動
- グリーン/ブルーボンドの発行によるESG投資の促進 [熊本市]

3(2) 実施状況まとめ（熊本連携中枢都市圏全体）

- 各市町村の実施事業が増えたことに加え、事業内容の拡充によってCO₂排出量の削減が進むなど、連携中枢都市圏共同での波及効果が見られている。
- 2022年度の施策による温室効果ガス削減量は75,281 t-CO₂で、2025年度の削減目標の128,000 t-CO₂の58.8%であった。2025年の目標達成に向けて、着実に対策を進めていく必要がある。
- 重点取組である「公共施設等による率先した省エネ・蓄エネ・再エネ」の推進のため、環境省重点対策加速化事業への応募に向けた調整を行った。

基本方針		温室効果ガス削減量（t-CO ₂ ）	
		連携中枢都市圏	2025年度目標値 （内訳）
基本方針 1	再エネの利用促進	23,684	43,000
基本方針 2	省エネの推進	27,833	21,000
基本方針 3	都市機能・資源循環	6,112	20,000
基本方針 4	自然環境保全	▲ 1,550	7,000
基本方針 5	環境意識の向上	19,202	37,000
合計		75,281	128,000



2025年までに128,000 t-CO₂の削減を目指す

3(3) 令和6年度以降の取組の方向性について

1. 住民や事業者の行動変容の促進について

- 各主体と連携しながら、様々な媒体を活用した広報や脱炭素型経営に関するセミナーの開催、各種補助等により、住民や事業者の行動変容の促進を図る。

2. 環境省重点対策加速化事業への応募及び実施について ➡【資料2】

- 現在、熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画の重点取組である「公共施設等による率先した省エネ・蓄エネ・再エネ」の推進を図るため、**環境省重点対策加速化事業(令和6年度開始)への応募を予定**しており、採択後は計画に基づき事業を実施する。

3. 各部局の事業における脱炭素化の取組について

- 引き続き、国、熊本県、熊本連携中枢都市圏を構成する市町村、その他関係機関が連携しながら、**再エネ設備等の導入を検討、推進する。**
- 各部局で事業等を行う際には、**脱炭素化の視点を入れた検討**を行う。
- 国は、各府省庁の分野において地域の脱炭素化の取組を推進しており、様々な支援メニューを用意しているため、**自治体向けの活用や市民・事業者向けの周知等により、脱炭素化を推進する。**

4. 熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画の改定について ➡【資料3】

- 現計画の計画期間は令和7年度末までであり、**令和6年度から具体的な改定作業に着手**する。

【参考】 今後のスケジュール

温室効果ガス排出状況及びアクションプランの実施状況の公表までのスケジュール

日程	項目
本日	熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策協議会における報告
2月下旬 から 3月下旬	(必要に応じ)各市町村議会における報告
3月下旬	各市町村で公表

【参考】デコ活について

デコ活
くらしの中のエコロがけ

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後

